

会 議 録

会議の名称	平成26年度第1回行田市男女共同参画推進審議会	
開催日時	平成26年7月10日(木) 開会；午後2時25分・閉会；午後4時13分	
開催場所	行田市男女共同参画推進センター 学習室	
出席者(委員)氏名	田代美江子委員(会長)、山崎孝子委員(副会長)、茂木美智代委員、山岸泰輔委員、武井知英子委員、筆 容三委員、西山カツ枝委員、高橋由美委員、吉田 哲委員、矢本政子委員、松島 弘委員、大野久美子委員、松村隆史委員 (名簿順、敬称略)	
欠席者(委員)氏名	井上文子委員	
事務局	岡田安弘(所長)、大澤永江(主査)	
会議内容	(1) 平成25年度V I V Aぎょうだ実施事業報告について (2) 第3次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況調査結果について (3) 各種団体等への委員の選出について (4) 平成26年度男女共同参画関連事業計画について	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度V I V Aぎょうだ実施事業報告(平成26年度第1回審議会資料) ・平成25年度分第3次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況調査結果 ・委員推薦依頼文の写し ・平成26年度実施事業状況 	
その他必要事項	傍聴者なし	
会議録の確定	確定年月日	主宰者記名押印
	平成26年8月6日	㊟

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・会長あいさつ ・新委員の紹介 ・市職員紹介、事務局職員異動の報告 ・配布資料の確認 ・議長の選出（会長）
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、議長を務めさせていただきます。 ・本日の会議は委員の過半数が出席しており会議は成立している。 ・まず、事務局に確認する。 ・本日の会議において非公開とする事項はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・非公開とする事項はなく、会議の傍聴希望者もない。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の交代があったことから、一人ずつ自己紹介を実施する。 ・次第に基づき議事を進行する。 ・議事の（１）平成２５年度V I V Aぎょうだ実施事業報告と（４）平成２６年度男女共同参画関連事業計画について事務局に説明を求める。
事務局	<p>（会議資料、「平成２５年度V I V Aぎょうだ実施事業報告（平成２５年度第１回審議会資料）」と平成２６年度男女共同参画関連事業計画の細部説明）</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明があったが、委員から意見、質問などあるか。
西山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・２５年度、２６年度 開催した男性料理教室の参加者のリピーター率はどれぐらいなのか。また、年齢層は。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、毎回、１割から２割ぐらいは毎回参加している方で、ほ

事務局	とんどの方が初めての方で、年齢層は60歳代から70歳代の方が多いが20歳代から30歳代の方も3,4名参加していただいている。
松島委員	・相談事業も様々なケースがあり、事件に発展するケースも今後増えてくると思う。
議長	・DV案件の状況はどのような状況か。
事務局	・今年度のケースでいえば、婦人相談所の手続きまでしたケース3件あったが、すべて数日後に家に戻りたいというケースであった。
松村委員	・DVのケースのケアで市の関与はあるのか。
事務局	・例えば、子どものいる家庭などは、児童相談所と連携をしている。
西山委員	・DVケースの年齢層はどれぐらいなのか。
事務局	・今年のケースは、30歳代がほとんどである。
茂木委員	・男性料理教室が多いが、働いている女性を対象とした料理教室なども企画をお願いしたい。また、夫婦のコミュニケーションなどの研修もどうか。
吉田委員	・26年度の相談件数が、6月まで出ているが、過去の状況はどういう状況か。
事務局	・23年度103件、24年度93件、25年度が97件と推移

	<p>しており、例年100件前後である。</p>
大野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚相談なんかもあればいいと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点から、結婚も仕事もOKという安心感が得られる企画が必要なのではと思う。若者に安心感を持ってもらえるような企画が面白いのではないか。
筆委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館において、料理の施設があり、女性料理教室をやっているの、活用していただけたらと思う。婚活関係も公民館でやっているところもあるので、ご活用していただきたい。 <p>昨日は、大塚製薬に協力していただき、熱中症対策を実施した。VIVAと公民館で協力していけたらいいかなと思う。</p>
山岸委員	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会の目指すイメージが持てるような講座や新しいライフスタイルを提案する講座があると参加してみたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・VIVAだからこそやれる講座があるといい。フォーラムについて、人をたくさん呼ぶのも大切だが、ここにどうやって男女共同参画の視点を入れていくのかが大切だと思っている。男女共同参画やジェンダーを前面に出すと引いてしまう人がいたり、女性しか集まらないケースもあるので工夫が必要だと思う。
松村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな視点を持っている数名のパネルディスカッション形式的なのも面白いかなと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・次に議事の(2)第3次ぎょうだ男女共同参画推進プラン進捗状況調査結果について、事務局に説明を求める。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の修正箇所について、説明をし、プランの進捗状況調査結

	<p>果について、説明をする。</p> <p>(会議資料、「平成25年度分第3次ぎょうだ男女共同参画推進プラン進捗状況調査結果について」の細部説明及び調査における評価方法、基準等について補足説明)</p>
吉田委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料を見させていただき、気になるのは、評価 D,E の事業である。実施していないのは、やらないのか。他の形でやるのか。〇〇を実施したと書いてあればいいのだが、わからない表現がある。今後、どうしていきたいのかわからない。
山崎委員	<ul style="list-style-type: none"> 5 ページの男女共同参画推進センターの事業の空欄がある。実施すれば E ではなくなるので、取組みをしっかりとさせていただきたい。
松村委員	<ul style="list-style-type: none"> ブランクのところが何件かある。何をどのようにしたのか、その結果できなかったという表現をしていただいたほうがよいのではないのか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 評価が A だったらそれでいいのかということでもない。例えば、1 ページの下から 2 番目の開発指導課の事業、前は「お茶くみの廃止」であったが、今回は「雑務の軽減」に変わっているだけである。結局、お茶くみのことなのか。このような記載で A になっている現状がある。
筆委員	<ul style="list-style-type: none"> 今年度 市の職員管理職の研修をやっていただいているが、どんな感じであったのか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 参加者は対象者の半数弱とそれほど多くなかったが、良く聞いていただいていたと思う。参加した部署の評価には多少反映されているのではないかと思う。しかし、未だに男女共同参画社

	<p>会とは具体的に何を実現すればいいのか理解がないままの状況は多い。例えば、1 ページの② 企画政策課 男女共同参画の視点で業務遂行とあって、男女共同参画の意識を持ち、業務を遂行したとあるが、具体的に何も書いていない。いったい男女共同参画の意識、視点とは何かがわかっていないのではないか。どのようにでも受け取れる表現では意味がない。</p>
筆委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工観光課の事業の内容は、どこの項目を見ても パンフレットを配布したで評価 A であるが、中身は変わっていない。
吉田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめて報告すると思うが、どのように報告するのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課長級職員で構成する男女共同行政推進会議において、皆様のご意見をフィードバックしている。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価基準については、前の評価ではだめだということで変えてきた。調査票はどのような様式なのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ この報告書の様式を電子データとして各課に配布し照会している。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ このデータをただ送るのではなく、各部署にどういう計画立て、それがどこまで遂行できたのかについて、具体的に記入していただく指示が必要なのではないか。 <p>また、さいたま市でも男女共同参画推進審議会では、評価が低かったり、その評価に疑問のある部署にはヒアリングを実施している。</p>
筆委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒアリングを実施して、何かをしないとまずいと考え方を持ってもらおうほうがいいと思う。

議長	<ul style="list-style-type: none"> ・そういった意識を持ってもらうために、皆様のご要望を受けて、課長級の研修を実施したのですが…。その研修の際に実施したアンケート結果を用意したのでご覧いただきたい。課長級の方々が男女共同参画についてどのような意識を持っているか、ご覧になっていただくとわかる。また、この研修に参加した女性はゼロであった。そこが、大問題である。女性がいないわけではないが、極めて少ない。
松村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の課長はいるのですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・課長職は2人いる。
松村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・話は逸れるが、最近 男性でも女性でもリーダーになるのを嫌がっている人が多い。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ノルウェーでは、4割の女性の管理職を入れないと一部上場できない仕組みがある。女性リーダーのための研修の仕組みもある。
山岸委員	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県が女性の管理職の割合が多く、3年連続第1位で、埼玉は少ないという。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度に向けて、再度評価の方法を検討することも1つの方法である。25年度の実績に対して、提言を作成する必要がある。ので、ご意見をいただき、伝えていただくことになる。
吉田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全部の評価をしなくてはならないのか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・この一覧が第3次男女共同参画の重点施策・具体的施策となっ

	<p>ている。担当部署ごとにソートをかけてみて、ヒアリングするのもいいかもしれない。</p>
筆委員	<ul style="list-style-type: none"> ・プランの調査の回答者が一人で回答しているところもあるかもしれないのではないか。課の全体の意見ではない可能性もある
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者が誰かを明確にさせていただくことも必要かもしれない。
西山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどのことに関連することだが、課長級以上のアンケート結果についても、男は仕事、女は家庭という性別によって役割を固定するような考え方が、ほぼ半々である。意識改革が進んでいない方もいるようだ。
松村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・なんで女性だけが、お茶汲みをするんだというのが会社の中で話題になってきた。自分たちは自分で入れようという意識はあっても、お客さんが来たときに男性が入れると違和感を持つ人もいるので、変革をしたくないのが、企業かなという感じがする。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・そういった意識を変えるためにも、男性が積極的にお茶くみをするということも重要。 ・男は仕事、女は家庭という考え方を持っている人がいてもいい。押し付けないということが基本である。自由な生き方、多様な生き方というものを前提にものを考えることが大事である。 ・いくつか意見が出されたので、まとめると、1つは、評価結果を部署ごとにソートをかけて検討する。2つめに誰が評価しているのかを確認すること。誰かひとりが適当にやるのではなく、部や課の中で相談して評価することを要望として出す。3つめに、事業の内容の実績のところ意識のレベルや抽象的なことではなく、何ができて何ができなかったのかを具体的に明確に

	<p>明記していただく。</p>
松村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランクはこれから入ってくるんですね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、そうです。
松島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・13ページの母子家庭の就労・自立促進の評価がCとなっているが、学童保育等で保護者から感謝されているので、Bぐらいでもいいのではないかと。とても喜ばれている事業である。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ここは、支給額を書くのではなく、どのように周知徹底を図ったのか、具体的にどういう効果があったのか内容を記入してもらおう。 <p>模範解答、だめな回答を示したらどうか。なぜ、その評価なのか、わかるように実績の事業の内容に書いていただくように言っていきたい。</p>
松島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・16ページの子育て支援課の、実績の箇所に行田市要保護児童対策地域協議会の開催、家庭児童相談室の設置とあるが、開催しただとか、設置したという表記がいいのではないかと。
吉田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・12ページの福祉課の実績の欄で、ささえあいマップの更新(36自治会)の表記も見ているほうがなんだかわからない。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・評価 A,B,C,D,E、なぜ、その評価なのかをわかるように、実績のところに書いてもらおう。
山岸委員	<ul style="list-style-type: none"> ・10ページの男性の育児休暇を利用できる人がいたのかどうか。何分の何人というほうが評価しやすいのではないかと。

議長	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職研修会の際に尋ねたが、まだ育休を取得した男性職員はまだいないとのこと。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・まだご意見がありましたら、個別でかまわないので事務局に伝えていただきたい。 ・次に議事の（３）、各種団体等への委員の選出について、事務局に説明を求める。
事務局	<p>（行田市図書館協議会委員の候補者の推薦、行田市公民館運営審議会委員の推薦、行田市行政改革推進委員会委員の推薦依頼文書に基づき推薦状況を報告。それぞれ、前委員に確認し、承諾され、報告したことを説明する。</p> <p>行田市図書館協議会委員には西山委員、行田市公民館運営審議会委員には茂木委員、行田市行政改革推進委員会委員には茂木委員）他の委員についても、説明をする。</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・３件の報告案件、ご承認をいただきたいと存じます。
全委員	<ul style="list-style-type: none"> ・承認する。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・担当の委員のみなさまにはよろしく願います。 ・５月に開催した職員研修会についての報告については、すでに議論の中でお話したとおり、比較的熱心に聞いていただけたと思う。わたしのお話しすることは、行田市の男女共同参画推進審議会の委員みなさんの要望ですとお話した。すぐには反映されないかもしれないが、こうしたはたらきかけを継続していきたい。
司会	<ul style="list-style-type: none"> ・以上ですべて議事はすべて終了した。 <p>事務局から何かあるか。これをもって議長の任を解かせていた</p>

山崎委員	<p>だく。事務局に返す。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 閉会の言葉を山崎副会長にお願いする。 <p>(閉会の言葉)</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------